

本県で海産物養殖提案

加藤さん(大)大賞

15組が独創的プラン



発表。ビジネスプラン部門で出場し、本県で海産物の大学生・専門学校生の部 新たな養殖方法を提案した



津久井治男副知事(左)から大賞のトロフィーを受け取り笑顔を見せる加藤さん(右)日本トーターグリーン

ドーム前橋

関連記事

5/7、23面

東京大4年の加藤徳明さん(24)は棟東村出身が最高賞の大賞に輝いた。

応募485組の中から2回の審査を通過した中学生から社会人までが、熱のこもった3分間のプレゼンテーションをした。協賛社に加え、今回初めて来場者の投票を実施。投票を参考に、慶応大の園領二郎教授らが審査した。関東経済産業局長賞にC&Fマーケティン(高崎市)の佐藤栄寿さん(50)が選ばれた。

「群馬イノベーションアワード(GIA)2023」の特別協賛社の一つ、デロイト・トーマツグループの前田善宏CSIOは28日、表彰式後に、来年3月2日に前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で、GIAから着想を得た「ニッポンイノベーションアワード」を開くと発表した。

がそれぞれ入賞した。今後の成長が期待できる新設の奨励賞には、ぐんま国際アカデミー中等部3年の鈴木聡真さん(15)と同1年の鈴木杏さん(13)が選ばれた。

ビジネスプラン部門は、高校生以下の部で伊勢崎商業高3年のターイーバ・サディアさん(17)と同2年の星野十夢さん(16)、大学生・専門学校生の部で共愛学園前橋国際大3年の出井樹利亜さん(21)、一般の部でTrait 鼓膜温ラボ(長野県)の坂本博明さん(51)、昨年までのスタートアップとイノベーションを統合したベンチャー部門はブラックマウンテンズ(高崎市)の岡田康弘さん(41)

式は東京農大二高吹奏楽部によるマーチング演奏で開幕。発表後とエンディングにもパフォーマンスを披露し、会場を魅了した。クリエティブディレクターでGO代表の三浦宏宏氏が「発想と実装で現実を動かすー超クリエイティブ論」と題し特別講演した。実行委員長の田中仁・ジ

来春、前橋で全国アワード

デロイト トーマツ

「群馬イノベーションアワード(GIA)2023」の特別協賛社の一つ、デロイト・トーマツグループの前田善宏CSIOは28日、表彰式後に、来年3月2日に前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で、GIAから着想を得た「ニッポンイノベーションアワード」を開くと発表した。

デロイト・トーマツが事務局で、アップデートアース財団(東京都)が主催。地球規模で課題に取り組むアイデアを育成、発掘、成長させる「UPDATE EARTH(アップデートアース)2024」の一環で初めて開催する。創業予定者など対象の「ニッポンイノベーショントライアウ

ト」も行う。12月15日まで自薦他薦問わず全国から募集する。「日本最大の街全体を舞台としたイノベーション祭り」を展開する。前田CSIOは「GIAに刺激を受けた。前代未聞の発想で地球の未来をつくる。前橋を聖地として全国に広げていきたい」と述べた。(林哲也)

ンスホールディングスCEOは式後の交流会で「起業の聖地として盛り上げていこう」とあいさつした。GIA協賛社や歴代入賞者が35のブースを出展した「群馬イノベーションマーケット」も開かれた。(文 林哲也、写真 広沢達也)